

<p>全国統一要求（抜粋）</p> <ol style="list-style-type: none"> 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に 過積載復活させるな 	 <p>ダンプ 建交労全国ダンプ部会</p>	<p>発行所</p> <p>全日本建設交運一般労働組合 東京都新宿区百人町4-7-2 電話 03(3360)8021 毎月25日発行 1部 50円</p>
---	--	---

建設産別対策委員会 第25次ゼネコン要請行動



「東北支店所管の現場で建交労を使用促進措置しています」と回答（3月9日鹿島建設）



単価引き上げ分がダンプ労働者に支払われるよう要請（3月10日前田建設工業）

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。

建設産別対策委員会は、3月9日～10日に第25回会議を開催しました。会議では、建設業界における労働環境改善や労働条件の改善について討議されました。また、建設業界における労働条件の改善について討議されました。



今年の第21回全国ダンプ部会定期総会で発言する高橋正彦さん



自動車パレードに参加した神奈川ダンプ支部の仲間たち（3月6日神奈川県横浜市内）

3月6日（日）、交通運輸関係で働く仲間が横浜市山下埠頭に結集し、二〇一六年春闘勝利を目指し、神奈川交運共闘主催「神奈川交運共闘自動車パレード」をダンプ・トラック・タクシーなど55台・80名の参加（神奈川ダンプ支部5台参加）で行いました。当時は、あいにくの雨予報の中、各車両に「賃上げ・まともな運賃・許すな増税・憲法改悪」と書かれた横断幕を前面に掲げ、さらに「脱原発」「12条団体の使用促進」等、それぞれの要求を側面に装った車両が隊列を組みました。

出発集会では高橋副議長（建交労神奈川ダンプ支部書記長）が、「安倍首相は任期中に憲法改正をすると明言した。これは自民党の選挙公約だ。私たちは絶対にこの二〇一六年春闘を勝利し、戦争法廃止2

車両パレード45台が参加
16春闘勝利を実現しよう
兵庫ダンプ

兵庫県本部は、3月13日（日）神戸市内で二〇一六年春闘決起集会を開催しました。集会には95名、パレード参加車両は45台です。主催者を代表して徳山輝明

ダンプは現状のままでは普通の生活はできない

秋田ダンプ

私は、秋田県大館市にある堀江建材の専属傭車です。親会社は花岡土建で地域のリーデングカンパニーと言われ、土木・合材・採石場・生コン部門があります。以前は、漠然と単価を上げてくれと要求するだけでした。その結果、会社からは「いまは苦しく利益も出ていないから無理です」と言われ、単価改善の要求は相手にされませんでした。根本的な要求は通らないものです。私は3年前に単価交渉をやってほしいと仲間に頼まれて、会社の庸車会の代表に

なりました。私が交渉する時は、はじめに交渉のための下調べをして知識と情報を得るようにしてきました。他地域の単価の状態、会社は利益が出ているのかどうかを下調べし、知識を深めるためにダンプキヤラバンや全国ダンプ部会の総会・全国大会などに出席していろんな意見を聞きました。情報を得ることでは、建交労が出版している資料などを参考にしてきました。常労単価の交渉のときは、常務に直接会いに行きます。私が建交労の組合員と知っているの

で組合で出している資料を見て、「公共工事でダンプ持ち労働者は一日このくらいの単価が出ています。せめて直接工事費分は出して下さい」と交渉しました。しかし高すぎると交渉されました。しかし高すぎると交渉されました。そこで、「それでは設計労務単価が上がった分、単価に反映して下さい」と話し、毎年少しずつですが3年間で8時間労働の常用単価を5千円上げてもらいました。また碎石運搬は、基礎となる単価表がありますが、

「常労と違って、碎石運搬は経費がかかるので燃料代を引いて下さい」と言えます。引き続きがんばります。

神奈川自動車パレード 16春闘要求をアピール

神奈川ダンプ

3月6日（日）、交通運輸

関係で働く仲間が横浜市山下埠頭に結集し、二〇一六年春闘勝利を目指し、神奈川交運共

闘主催「神奈川交運共闘自動車パレード」をダンプ・トラ

ック・タクシーなど55台・80

名の参加（神奈川ダンプ支部5台参加）で行いました。

当時は、あいにくの雨予報

の中、各車両に「賃上げ・ま

ともな運賃・許すな増税・憲

法改悪」と書かれた横断幕を

前面に掲げ、さらに「脱原発

」「12条団体の使用促進」等、

それぞれの要求を側面に装つた車両が隊列を組みました。

出発集会では高橋副議長（建交労神奈川ダンプ支部書記長）が、「安倍首相は任期中に憲法改正をすると明言した。これは自民党の選挙公約だ。

私たちは絶対にこの二〇一六年春闘を勝利し、戦争法廃止2



2016年春闘決起と取り組みをアピールしました。（3月13日兵庫県神戸市内）

午前11時30分に山下埠頭を出発したパレード隊は、県庁などの官庁街から買い物客でにぎわう、みなとみらい地区を通るなどし、沿道の市民やドライバーにアピールしました。マスコミも神奈川テレビ（TVK）、神奈川新聞、しんぶん赤旗が取材し、午後のニュースで大きく報道されました。

執行委員長は、安保法制（戦争法）をめぐって一点共同の広がりを紹介し、「県本部目標の1万筆の早期達成に向かってみんなで奮闘しましよう！」と訴え、二〇一六年春闘での取り組みの強化を訴えました。また各支部代表からの決意表明をおこない、集会終了後、ポートアイランドから車両パレードを実施。多くの市民に「安保政権の早期退陣」「戦争法の廃止」「大企業の内部留保を社会に還元せよ」「二〇一六年春闘勝利」などを市民に訴えました。

兵庫ダンプ支部から15台が参加し、二〇一六年春闘を勝ち取り、戦争法廃止を神戸市民に力強く訴えるため、各ダンプに色取り取りの風船を付けアピールしました。パレード中、若いママが幼い子と共に指をさし微笑んでいました。